別記様式第１

二部提出

防火対象物点検結果報告書

令和○○年○○月○○日

遠賀郡消防長　殿

管理権原者

法人の場合は、名称及び代表者名

住所　○○県○○市○○町○○丁目○－○

氏名　○○株式会社 代表取締役 ○○　○○

電話番号　000-000-0000

下記のとおり防火対象物の点検を実施したので、消防法第８条の２の２第１項の規定に基づき報告します。

記

防火対象物	所在地	福岡県遠賀郡○○町○○○○－○		
	名称	スーパー　遠消		
	複数権原の場合に管理権原に属する部分の名称			
	用途※1	物品販売店舗	令別表第１※1	（ ４ ）項
	構造・規模	鉄骨　造　地上　２　階　地下　　階		
		床面積　１，０００　㎡　延べ面積　１，５００　㎡		
点検実施日		令和○○年○○月○○日		
消防法施行規則第４条の２の６第２項の適用		□第１号　□第２号　□第３号		
点検者	住所	○○県○○市○○町○○丁目○－○　電話番号　000-000-0000		
	氏名	○○防災株式会社　○○　○○		
	免状	講習機関名	免状交付年月日	免状交付番号	有効期限
		○○消防本部	令和00年00月00日	第○○○○○号	令和00年00月00日

受付欄※2	経過欄※2	備考※2

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
２　※１欄は、複数権原の場合にあっては管理権原に属する部分の情報を記入すること。
３　消防法施行規則第４条の２の６第２項の適用の欄は、適用される規定がある場合、該当する規定の□にレ点を記入すること。
４　※２欄は、記入しないこと。

別記様式第２

防　火　対　象　物　点　検　票　（その１）

防　火　管　理　者	遠賀　一郎				
立　　会　　者	消防　一郎				
点　検　年　月　日	令和○○年○○月○○日　～　令和○○年○○月○○日				
防火管理維持台帳	記録の有無　☑有・□一部有・□無	保存の有無　☑有・□一部有・□無			
防火対象物の概要	階別概要（　号棟）	事項／階別	用　　途	床　面　積	点検する部分の床面積	備　　考
		２　階	事務所	５００㎡	５００㎡	
		１　階	物品販売店舗	１，０００㎡	１，０００㎡	
		階		㎡	㎡	
		階		㎡	㎡	
		階		㎡	㎡	
		階		㎡	㎡	
		合計		１，５００㎡	１，５００㎡	
備考	２階は物品販売店舗の事務所					

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
　　２　防火管理維持台帳の欄は、該当する□にレ点を記入すること。
　　３　防火対象物の概要が欄に記載できない場合は、別紙に記載し添付すること。

防火対象物点検票（その２）

点検項目			点検結果 判定	点検結果 不備内容	状況及び措置内容
届出	防火管理者選任（解任）		☑適 □否		令和〇〇年〇〇月〇〇日　届出 遠消予第〇〇〇〇号
届出	消防計画作成（変更）		☑適 □否		令和〇〇年〇〇月〇〇日 届出 遠消予第〇〇〇〇号
届出	自衛消防組織の設置		□適 □否		該当なし
消防計画	自衛消防の組織		☑適 □否		
消防計画	火災予防上の自主検査		☑適 □否		
消防計画	消防用設備等又は特殊消防用設備等の点検及び整備		☑適 □否		
消防計画	避難施設の維持管理及びその案内		☑適 □否		階段室に段ボール２０個存置されていたが即時是正した。　※その３にも記入
消防計画	防火上の構造の維持管理		☑適 □否		
消防計画	収容人員の適正化		☑適 □否		
消防計画	防火管理上必要な教育		☑適 □否		
消防計画	消火、通報及び避難の訓練その他必要な訓練		☑適 □否		
消防計画	消火活動、通報連絡及び避難誘導		☑適 □否		
消防計画	消防機関との連絡		☑適 □否		
消防計画	工事中の火気使用又は取扱いの監督		☑適 □否		
消防計画	防火管理に関し必要な事項		☑適 □否		非常用物品が備蓄されているが、整理が不十分である為、助言し是正した。
消防計画	自衛消防組織	活動要領	□適 □否		該当なし
消防計画	自衛消防組織	要員の教育及び訓練	□適 □否		〃
消防計画	自衛消防組織	業務に関し必要な事項	□適 □否		〃

消防計画	共同自衛消防組織	協議会の設置及び運営	□ 適 □ 否		該当なし
		統括管理者の選任	□ 適 □ 否		〃
		業務を行う範囲	□ 適 □ 否		〃
		運営に関し必要な事項	□ 適 □ 否		〃
	防火管理業務の一部委託		☑ 適 □ 否		○○○○警備会社　一部委託
	権原の範囲		□ 適 □ 否		該当なし
	地震防災対策強化地域に所在する防火対象物	自衛消防の組織	□ 適 □ 否		〃
		情報等の伝達	□ 適 □ 否		〃
		避難誘導	□ 適 □ 否		〃
		施設及び設備の点検及び整備	□ 適 □ 否		〃
		応急対策	□ 適 □ 否		〃
		防災訓練	□ 適 □ 否		〃
		教育及び広報	□ 適 □ 否		〃
	防火管理者	消火訓練及び避難訓練の実施回数	☑ 適 □ 否		令和○○年○○月○○日　実施 令和○○年○○月○○日　実施
		消火訓練及び避難訓練を実施する場合の消防機関への通報	☑ 適 □ 否		令和○○年○○月○○日　届出 遠消予第○○○○号 令和○○年○○月○○日　届出 遠消予第○○○○号

備考　1　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
2　判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
3　状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
4　該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

防火対象物点検票（その３）

点検項目		点検結果		状況及び措置内容
		判定	不備内容	
届出	統括防火管理者選任（解任）	□ 適 □ 否		該当なし
	全体についての消防計画作成（変更）	□ 適 □ 否		〃

点検項目	点検結果		状況及び措置内容
	判定	不備内容	
避難上必要な施設及び防火戸の管理	☑ 適 □ 否		階段室に段ボール２０個存置されていたが即時是正した。 ※その２と併用
防炎物品の表示	☑ 適 □ 否		
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの届出	☑ 適 □ 否		令和〇〇年〇〇月〇〇日　届出 遠消予第〇〇号

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
２　判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
３　状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
４　該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

防火対象物点検票（その４）

点検項目		法第17条の２の５第１項の適用	法第17条の３第１項の適用	点検結果 判定	点検結果 不備内容	状況及び措置内容
消防用設備等	消火器・簡易消火用具	—	—	□適 ☑否	未設置	２階に消火器が未設置である。
	屋内消火栓設備	□有 □無	□有 □無	□適 □否		該当なし
	スプリンクラー設備	□有 □無	□有 □無	□適 □否		〃
	水噴霧消火設備等	□有 □無	□有 □無	□適 □否		〃
	屋外消火栓設備	□有 □無	□有 □無	□適 □否		〃
	動力消防ポンプ設備	□有 □無	□有 □無	□適 □否		〃
	自動火災報知設備	□有 □無	□有 □無	☑適 □否		
	ガス漏れ火災警報設備	□有 □無	□有 □無	□適 □否		該当なし
	漏電火災警報器	—	—	□適 □否		〃
	消防機関へ通報する火災報知設備	□有 □無	□有 □無	□適 □否		〃
	非常警報器具・非常警報設備	—	—	□適 □否		〃
	避難器具	—	—	□適 □否		〃
	誘導灯・誘導標識	—	—	☑適 □否		１階の誘導灯前に視認障害があった為、除去するよう助言した。
	消防用水	□有 □無	□有 □無	□適 □否		該当なし
	排煙設備	□有 □無	□有 □無	□適 □否		〃
	連結散水設備	□有 □無	□有 □無	□適 □否		〃
	連結送水管	□有 □無	□有 □無	□適 □否		〃
	非常コンセント設備	□有 □無	□有 □無	□適 □否		〃
	無線通信補助設備	□有 □無	□有 □無	□適 □否		〃

備考
1　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
2　法第17条の２の５第１項の適用の欄及び法第17条の３第１項の適用の欄は、規定が適用される場合は「有」の□にレ点を記入し、適用されない場合は「無」の□にレ点を記入すること。
　また、市町村長が法第17条第２項の規定に基づき定めた消防用設備等の技術上の基準について、規則第４条の２の６第９号の規定に基づき定めた場合にあっても記入すること。
3　判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
4　状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
5　設置義務のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。
6　水噴霧消火設備等とは、水噴霧消火設備、泡消火設備、不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備又は粉末消火設備をいうこと。

点検項目		必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等の概要	点検結果		状況及び措置内容
			判定	不備内容	
消防用設備等	令第29条の４第１項の必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等		□ 適 □ 否		該当なし

点検項目		適用される消防用設備等	点検結果		状況及び措置内容
			判定	不備内容	
消防用設備等	令第32条の適用		□ 適 □ 否		該当なし

点検項目		特殊消防用設備等の概要	点検結果		状況及び措置内容
			判定	不備内容	
特殊消防用設備等	法第17条第３項の特殊消防用設備等		□ 適 □ 否		該当なし

点検項目		適用される消防用設備等又は特殊消防用設備等	点検結果		状況及び措置内容
			判定	不備内容	
消防用設備等又は特殊消防用設備等	設置の届出	消火器、自動火災報知設備、誘導灯	☑ 適 □ 否		
	消防機関の検査	同上	☑ 適 □ 否		

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
２　判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
３　状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
４　該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

防火対象物点検票（その６）

点検項目			点検結果 判定	点検結果 不備内容	状況及び措置内容
火を使用する設備の位置・構造及び管理等	火を使用する設備等	設備の位置	☑ 適 □ 否		
		設備の管理	☑ 適 □ 否		厨房設備のグリスフィルターに油脂等の付着を防止する為、定期的に清掃するよう助言した。
	火を使用する器具等	器具の取扱い	☑ 適 □ 否		事務所の石油ストーブの周りに、書類等の可燃物を放置しないよう整理整頓を助言した。
	火の使用に関する制限等	喫煙等の制限	□ 適 ☑ 否	標識の未設置	入口等の見やすい場所に禁煙・火気厳禁・危険物持込禁止である旨の標識を掲げていない。
		がん具用煙火の制限	□ 適 □ 否		該当なし
備考					

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
２　判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
３　状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
４　該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

防火対象物点検票（その７）

点検項目			点検結果 判定	点検結果 不備内容	状況及び措置内容
指定数量未満の危険物の貯蔵及び取扱い	貯蔵又は取扱い数量		☑ 適 □ 否		
	火気の使用制限		☑ 適 □ 否		
	漏れ・あふれ又は飛散の防止		□ 適 ☑ 否	危険物の漏れ	保存容器の破損により危険物の漏れがある。
	容器		□ 適 ☑ 否	容器の破損	保存容器の破損により危険物の漏れがある。
	少量危険物	計器類に関する監視	□ 適 □ 否		該当なし
		タンク本体	□ 適 □ 否		〃
		配管	□ 適 □ 否		〃
備考					

備考　1　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
2　判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
3　状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
4　該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。

防火対象物点検票（その８）

点検項目			点検結果 判定	点検結果 不備内容	状況及び措置内容
指定可燃物等の貯蔵及び取扱い	可燃性液体類等	火気の使用制限	☑適 □否		
		漏れ・あふれ又は飛散の防止	☑適 □否		
		容器	☑適 □否		
		計器類に関する監視	□適 ☑否	圧力計の破損	圧力計が破損により機能していない。
		タンク本体	☑適 □否		
		配管	☑適 □否		
	綿花類等	火気の使用制限	□適 □否		該当なし
		集積単位	□適 □否		〃
		計器類に関する監視 （廃棄物固形化燃料等を貯蔵し、又は取り扱う場合）	□適 □否		〃
備考					

備考　１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
２　判定の欄は、適正な場合は「適」の□にレ点を記入し、不備のある場合は「否」の□にレ点を記入するとともに、不備内容の欄にその内容を記入すること。
３　状況及び措置内容の欄には、点検時の点検項目の状況及び点検の際措置した内容を記入すること。
４　該当のない点検項目については、状況及び措置内容の欄に「該当なし」と記入すること。